

花と緑の銀行だより

178号 2011.1



アキグミ／富山市

目次	・花と緑の提言..... 2	・技術講座..... 6
	・市町村の事業紹介..... 3	・この人あり..... 7
	・活動事例..... 4	・お知らせ..... 7
	・緑づくりコーナー..... 5	



砺波市の緑花推進

花と緑の銀行

砺波支店長（砺波市長） 上田 信 雅

砺波市の地勢・チューリップ・緑花の意義

砺波市は県西部に広がる清流庄川の扇状地である砺波平野のほぼ中心に位置している「チューリップ」と「散居村」の花と緑のまちです。砺波の四季は花と共に移り変わります。

春のゴールデンウィークを中心として開催される「となみチューリップフェア」は、今年60回という記念すべき年を迎えます。チューリップ栽培が砺波の地に根付いてから90余年、日本一のチューリップのふるさととして見事に開花し、花を愛でる豊かな心がこの「花の祭典」を大きなイベントに成長させました。今年は花と緑の地方銀行頭取のご協力により、チューリップフェア会場及びその周辺に、また市民により駅や市街地にそれぞれプランターを設置するなど、これまで以上に市民参加による花の装飾を充実させ、『花のまちとなみ』を演出します。またチューリップフェア会場では500品種・100万本のチューリップで観光客をお迎えいたします。

さらに初夏の「花しょうぶ」、夏の「カンナ」、秋の「コスモス」と、四季を通して多くの人々を魅了する花々が咲き誇っております。

緑豊かで潤いのあるまちづくりの基本は、生活に溶け込んだ身の回りの花と緑にあるといっても過言ではありません。花と緑に囲まれた生活は、そこに住んでいる人々の心を豊かに、やさしくしてくれます。

花と緑を生活の中に

砺波市では、花と緑を生活の中に浸透させるために各種事業を実施しております。

毎年夏には、緑花推進に取り組む個人と団体を対象に8部門について花と緑のコンクールを実施しています。このコンクールでは、一般花壇、学校花壇、コンテナガーデン、フラワーラインの他に、当市独自のものとして、生け垣についても審査を行っております。

これらのコンクールでは、年々互いに切磋琢磨され、植え方、色彩、バランスなど植栽技術が大変レベルアップしており、審査においては甲乙つけがたい状況になりつつあります。さら

にコンクールの参加者が互いにコミュニケーションを図り、草花に関する情報交換などにより交流を深め、花と緑の輪が一層拡大し花と緑のまちづくりの大きな流れになるものと確信しております。

その他、毎年、市内各小学校低学年の児童が、チューリップフェア会場周辺の花壇でチューリップ球根植え込みの体験に参加し、自分たちが植えたチューリップで来場者に喜んでもらうという、「花を育てる喜び」に接する機会を子供の頃から提供することは、重要なことと考えております。さらに、花を取り入れた生活スタイルを推進するため、花と緑に関する教室や講演会を開催しております。

教室では園芸の基礎を講義や実習をとおして、花や緑に対する親しみ方、楽しみ方をはじめとして栽培技術の向上を図り、一層花のある暮らしが身近なものになるよう、花作りの実践の機会を提供しております。また、講演会では、地域で緑化推進を実践されている方々や学識経験者などを中心に全国から講師をお招きして、花と緑のまちづくりの啓発に努めております。

文化としての花と緑のまちづくり

四季のはっきりした日本では、移り変わる花によって四季を感じ、古来より絵画や詩歌の題材にもなってきました。古くは万葉集に166種類の植物が詠み込まれているのも四季のはっきりしている日本ならではの文化だと思えます。特に砺波市は、豊かな水に育まれた稲作と杉という日本の原風景を保っており、特に水田の中に杉の屋敷林に囲まれた住居が点在する散居風景の四季の営みは、供花のための各庭先での四季の花づくりが連綿と受け継がれたことにより、自然や花に親しむ文化が形成されたものと思っております。

この様に、花もあり、緑も美しく、住みやすく、訪れた人達がほっとするような心豊かなまちづくりを推進するため、今後とも皆様により一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

上市町（上市支店）の活動紹介

上市町産業課 課長代理 酒井紀明

1. はじめに

上市町は、県の中心にある富山市の以東約15kmに位置しており、古くから物資流通の中心地として「市(いち)」が栄え、現在は、米作を中心とした農業と、繊維・薬品・精密部品などの製造業を中心とする工業とが見事に調和された、緑豊かな田園工業都市です。

まちのシンボルは、その威容が天下に絶する壮観な北アルプスの霊峰「劔岳(標高2,999m)」であり、登山口にあたる馬場島は、中部山岳国立公園の中にあり、豊かな自然と緑の木々におおわれ、四季折々に美しい表情を見せています。



劔岳(中央奥)と上市川周辺

2. 上市町における緑化推進

花と緑の銀行上市支店は、頭取8名・グリーンキーパー16名の計24名で各地域の緑化活動に努めています。

主な活動としては、スーパー農道沿いにある「頭取グリーンキーパー花壇」へ、6月に花苗の植込み、11月にチューリップの球根の植込みといった取組みが行われています。

また、県道大岩・神明町線の大岩・大松地内では、大岩の観光客や通勤通学の皆さんにやすらぎと潤いを与える



大岩のフラワーラインづくり

空間づくり

のために、

地域住民が一体となり、多数のプランターを設置したフラワーラインとして、花苗の植込みや水管理などの活動を行っています。

上市支店における花緑の政策として、公園、公民館、保育所など約60箇所に花苗を配布する事業を実施しており、花壇やプランターの維持・管理においても、地域住民と行政が一体となり、花とみどりの町づくりを進めております。



頭取・グリーンキーパー花壇への植栽

3. これからの活動について

町内の各地方銀行では、構成員の高齢化等に伴い、新しいメンバーの確保やさらなる協力が求められていることから、豊かな自然と花と緑にあふれたふるさとを後世に残すためにも、町民と行政が協働し、さらなる緑化の普及・啓蒙活動を推進してまいりたいと思います。

八尾園花と緑の活動

八尾園園芸担当 島 滝 徳 人

救護施設 八尾園 紹介

救護施設は、身体や精神に障害がある方や、何らかの生活上の問題のため日常生活が困難な方が入所し、生活保護法により健康で安心して生活するための施設です。施設の利用には、障害種別による制限はありません。他法や他制度では対応できない方を受け入れる救護施設は、地域におけるセーフティネットとしての役割を果たしています。また福祉サービスをするだけでなく、施設の活動として年に2回のゴミ拾いといった地域美化や、町内にある神社の草刈り、秋には街路樹の落葉清掃にも取り組み、地域で生活する一員としての活動を展開しています。

八尾園園芸班の成り立ち

施設設立時（昭和32年）に、利用者の生きがい対策として、施設の環境整備、また花づくりを楽しむ情緒的な生活を営めるようになることを目的とし、園芸班を設立しました。

その後、昭和53年に園芸棟・ビニールハウスが拡充されたことによって、植物の管理や地域の方への花苗配布など可能になりました。更に、平成20年からは、落葉を利用して腐葉土を作るための腐葉土室を新設すると共に、育苗室、移植保管室、作業棟を改築することで、より一層花づくりに取り組める環境が整い現在にいたります。

園芸班の活動

園芸班の年間活動として、町の警察署、消防署、福祉センター、公民館等に月に1・2回、花鉢やプランター等を提供し入れ替え作業を行っています。しかし近年では冷房や暖房の影響で花が傷むことが多く、その度花の交換、そして傷んだ花を元気にしてまた皆さんに楽しんで頂けるよう日頃から花の病院といった役割もしています。

春、夏の活動として地域の花愛好家グループ、花作りボランティア、小学校、幼稚園、保育園といった約20の団体へ、園芸班で種まきから栽培した約150鉢の花苗を各種、混ぜて配布します。また冬の間、八尾園で保管していたカンナの球根も同時に無償で配布しています。このような活動から交流が生まれ、幼稚園児さんや保育園児さんが施設に訪問して下さり、利用者との親睦を深めています。

5月の終わりに八尾園の花壇の手入れを始め、去年育てた花の種が零れて芽の出た多年草の苗を間引き、また花壇の構成を考えて配置、移植します。その後一年草を植え込み、花壇を作ります。通行する方にも観て楽しんでいただけるように利用者、職員共に花殻摘みや水遣りを心がけています。

秋の活動として八尾地区や、その他2ヶ所で街路樹の落葉清掃を行います。そこで集めた落ち葉を持ち帰り、施設で精米した米から出た米ぬかを混ぜ、発酵し腐らせ、腐葉土作りを行います。冬の間の作業として土に腐葉土や肥料、鶏糞、燐炭を混ぜ培養土作りを行っています。出来上がった培養土は、花壇、花鉢やプランターに入れる土として活用し、また地域の花壇にも配布しています。

このように花に関わる活動を進める中で、地域の方との接する機会は利用者にとって、作業や日々の生活の上での心の励みになり、生き甲斐につながるのではないかと思います。

また色々な所へ花苗を配ることにより、地域の皆さんが花作りを楽しんで頂ける環境をつくることができました。花作りを通じて交流し、八尾の地区だけに留まらず、施設から様々な方面へ花を育てる楽しさ、大切さを発信できるように今後も地域に根差した活動を推進していきたいと思っています。



庭木に利用する樹種の特徴と管理

—庭木を加害するカイガラムシ類を早く発見する方法とその防除用農薬など—

日本樹木医会富山県支部

樹木医 西村正史

庭木にはカイガラムシ類が多発しますが、発見が手遅れになることが多いこともあり、防除に苦労されていることと思います。

そこで、今回はカイガラムシ類をできるだけ早く発見する方法と容易に入手できる農薬の種類などについて紹介したいと思います。

1. カイガラムシ類の発生を早く発見する方法

葉にすす病が発生して黒くなったり、アリが樹に上がり始めたり、樹木全体の樹勢が何となく衰えたりすると、要注意です。枝や葉をよく観察してください。大型のカイガラムシ類であればすぐ見つけることができますが、小さい場合には10倍程度のルーペでカイガラムシ類であるか否かを確認してください。

2. カイガラムシ類の防除用農薬

カイガラムシ類であることが確認したら、防除を実施してください。以下に、ホームセンター等で容易に購入できる農薬を列記します。

- ・薬剤名：アクテリック（乳剤）、成分：ピリミホスメチル、対象樹種：ツバキ・マサキ
- ・薬剤名：オルトランAスプレー（エアゾル）、成分：オルトラン・アレスリン、対象樹種：サルスベリ
- ・薬剤名：オルチオン（乳剤）、成分：オルトラン・スミチオン、対象樹種：ツツジ
- ・薬剤名：カダンK（エアゾル）、成分：アレスリン・マシン油、対象樹種：落葉性庭木類樹木・アオキ・ゲッケイジュ・サザンカ・サンゴジュ・ツツジ類・ツバキ・マサキ・モクセイ・モチノキ・モッコク・マツ類・スギ・ツゲ
- ・薬剤名：スミチオン（乳剤）、成分：スミチオン、対象樹種：コデマリ
- ・薬剤名：ベニカX乳剤（乳剤）、成分：ペルメトリン・ミクロブタニル、対象樹種：サルスベリ・マサキ、その他：幼虫が対象
- ・薬剤名：ベニカD（エアゾル）、成分：アプロー

ド・ペルメトリン・ミクロブタニル、対象樹種：サザンカ

- ・薬剤名：カイガラタタキ・キングマシンエアゾール（エアゾル）、成分：マシン油、対象樹種：ゲッケイジュ・サザンカ・ツツジ・ツバキ、その他：幼虫が対象
- ・薬剤名：マシン油乳剤（乳剤）、成分：マシン油、対象樹種：ゲッケイジュ・サザンカ・ツバキ
- ・薬剤名：アルボ油（乳剤）、成分：マシン油、対象樹種：樹木（落葉性樹木）
- ・薬剤名：カルホスエアゾール（エアゾル）、成分：カルホス、対象樹種：マサキ
- ・薬剤名：タイクーン（乳剤）、成分：ダニカット・アプロード、対象樹種：サザンカ・ツバキ、その他：幼虫が対象
- ・薬剤名：マシン油A乳剤AL（乳剤）、成分：アレスリン・マシン油、対象樹種：アオキ・マサキ・ツバキ

使用される場合は、購入された農薬の説明書を良く読んでから使用してください。例えば、マシン油乳剤では使用時期によって希釈倍数に違いがあります。間違えると庭木に薬害が発生し、ひどい場合には枯れることもあります。

上記以外の農薬でカイガラムシの防除に有効なものがあります。それは、樹木類を対象にしたスプラサイド乳剤40とカルホス乳剤です。しかしながら、これらの農薬は「劇物」に指定されていますので、入手するには手続きが必要です。

3. その他

薬剤以外の方法でも防除可能です。使い古しの筆の毛を1cm程度残して切り落とし、反対の柄（竹）の先を斜めに切って先を尖らした道具を使って、葉などの広い場所では毛を使い、凹凸のある狭い場所では竹の先で落とします。

タワシや歯ブラシなどで擦り落とす方法もあります。試みてください。



ステップアップ研修を受講して

南砺支店北山田地方銀行
頭取 山田 政寛

昭和58年に前任者から花と緑の銀行福光支店北山田地方銀行の頭取の任を引き継いで今日に至っています。これまでに、福光地域花と緑推進協議会で、市役所を利用される方や国道を通行される方の潤いと安らぎになればと、市役所庁舎正面緑地帯を花壇にするなどの活動を行ってきました。そんな中、行政センターへ出向いた折りに、ステップアップ研修の受講を強く勧められ、思い切って受講することにしました。

研修は、頭取・グリーンキーパーが支える富山の花づくりのリーダーとしての心構えから始まり、初心に戻って研修を受講することが出来ました。研修は、渡邊先生の指導の下に、土づくりに始まり、一年草、多年草の使い分け、デザイン、観察記録など念入りな講義とともに、中央植物園内でテーマを決めて花壇を作る実習の両面から進められました。私の班は「ニコニコ花だん」とテーマが決まり、メンバーは初対面でしたが直ぐに意気投合し和気藹々の仲、笑顔で楽しく作業実践することが出来ました。今年の夏は猛暑続きで土が乾燥し過ぎて成長が悪いものがあったり、病気や害虫の発生で見苦しいこともありましたが、涼しくなった10月には花色が冴え、見ごたえのある花壇になりました。



研修で得た知識や技術を地域の花づくりに生かし更に活動の輪を広めて行きたいと思います。

平成22年度ステップアップ研修

ステップアップ研修では、花と緑に関する地域リーダーにふさわしい専門知識を有する人材育成のため、花壇デザインや経費・労力のかからない、環境にやさしい花の栽培管理技術の向上を目指した講義、実習を行っています。

ここでは、中央植物園での実習の一端を紹介します(MY 普及研修部)。

第6班 テーマ 『チョウが舞う庭』



6月16日
灌水方法



4月上旬、まずは土づくり。有機質肥料等を混ぜ込み、植付け準備。待つこと2カ月、6月9日栽植。

班ごとに一つの花壇を管理します(全6班)。
花壇のテーマ・花苗の種類・配色等を話し合いました。



一人一品種、担当する植物を決め、実習日ごとに生育状況を観察。切り戻しのテクニックや追肥の方法等を学習しました。



切り戻し前



切り戻し後

8月11日 切り戻し
病気・害虫の防除



9月22日 雑草対策



10月20日 花柄摘み、刈り込み



花の魅力で 環境美化と心の癒しを

氷見市村上町内会 会長 小坪 淳

朝日丘地方銀行GK 寺沢 都子

環境美化の一環として、お宮さんの境内の法面に花壇を作りました。国道160号の交差点に面する場所で、雑草が生い茂り大変見苦しいので、町内のグリーンキーパー寺沢 都子さんに相談して「花・みどり推進班」へ花の苗を申請してもらいました。

そして、この春にペゴニア、インパチェンス、ニチニチソウ、サルビア、マリーゴールドのプラグ苗約700本をいただくことができました。一方、花壇は有り合せの板くずを持ち寄って、長さ約20m・幅50cmほどの畑を4段・雛壇状にして、新しい山土砂をも入れて手作り花壇を造成しました。

寒い日が続いて管理に苦勞した苗をやっと定植したものの、その後は異常な猛暑が続いて水やりに苦勞させられました。それでもどうにか綺麗に咲きそろい、地区民や多くの知人からも「見事だね」「癒されるよ」「よくやったな」の賞賛の言葉をいただき、取り組んでよかったと実感しました。来春にはもっと拡充し、花苗の植え込み方にも工夫するなど一層見応えのある花壇にして、国道を走るドライバーに癒しを感じてもらい、交通安全にも繋げていきたいと思っています。

今後も「花の魅力で心の癒し」を求め……グリーンキーパーを中心に仲間を増やしながら環境美化を推進していきたいと願っています。



〈お知らせ〉

花とみどり・ふれあいフェアが開催されました

12月3～12日に、年末年始の花飾りなど冬の生活に花と緑を活用した生活スタイルを提案するフェアが開催されました。体験コーナーやイベントなど、参加体験の機会を充実した楽しいフェアでした。



イベント

マジックショウや
足長おじさんの登場、
コンサートなど



コンテナガーデンと
公募寄せ植えの展示



寄せ植え教室作品と
ミニプリザーブド



グリーンキーパーの登録を勧めましょう!

3月になると年度末で交代になる頭取、グリーンキーパーの登録事務が始まります。現在活動されている頭取、グリーンキーパーの皆様の周囲に、地域緑化や花と緑に関心のある方がおられたら、私どもと一緒に活動しようとお誘いしてみてください。

表紙写真：アキグミ（グミ科、富山市）
裏表紙写真：劔岳（富山市から）



暁天山容／富山市



花と緑の銀行だより 178号

発行日 平成23年1月

編集発行 財団法人 **花と緑の銀行**

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-2425

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org>

県民公園頼成の森

〒939-1431 富山県砺波市頼成156

TEL 0763-37-1540

FAX 0763-37-1450

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/ranjyounomori/>

再生紙を使用しています。